



平成 29 年 11 月 7 日

各 位

会 社 名 世紀東急工業株式会社  
 代 表 者 名 取締役社長 佐藤 俊昭  
 コード番号 1898 東証 1 部  
 問 合 せ 先 財務部長 川野 隆紀  
 TEL. 03-3434-3256

第 2 四半期業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正  
 並びに特別損失の計上及び配当予想の修正に関するお知らせ

平成 29 年 8 月 8 日に公表いたしました平成 30 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想と本日公表の実績値との差異及び通期の業績予想の修正並びに今回の修正値に特別損失の計上が含まれておりますので、下記のとおりお知らせいたします。

また、当社は、平成 29 年 11 月 7 日開催の取締役会において、平成 30 年 3 月期の配当予想について、下記のとおり修正することを決議いたしましたので、併せてお知らせいたします。

## 記

## 1. 業績予想値と実績値との差異

- (1) 平成 30 年 3 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想数値と実績値との差異  
 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	31,700	1,100	1,100	950	23.53
実績値 (B)	31,279	1,298	1,289	△1,567	△38.84
増減額 (B - A)	△421	198	189	△2,517	—
増減率 (%)	△1.3%	18.0%	17.2%	—	—
前期実績(平成 29 年 3 月期 第 2 四半期)	25,093	1,519	1,506	1,331	32.99

- (2) 平成 30 年 3 月期第 2 四半期累計期間個別業績予想数値と実績値との差異  
 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

	売 上 高	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	29,000	900	850	21.06
実績値 (B)	29,544	1,099	△1,706	△42.28
増減額 (B - A)	544	199	△2,556	—
増減率 (%)	1.9%	22.1%	—	—
前期実績(平成 29 年 3 月期 第 2 四半期)	24,590	1,469	1,315	32.58

## 2. 通期業績予想の修正について

### (1) 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想（A）	88,500	6,300	6,200	5,500	136.25
今回修正予想（B）	88,000	6,200	6,200	2,700	66.89
増減額（B－A）	△500	△100	—	△2,800	—
増減率（%）	△0.6%	△1.6%	—	△50.9%	—
前期実績（平成 29 年 3 月期）	74,107	6,412	6,338	5,621	139.26

### (2) 平成 30 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想（A）	83,000	5,700	5,100	126.34
今回修正予想（B）	83,000	5,800	2,500	61.93
増減額（B－A）	—	100	△2,600	—
増減率（%）	—	1.8%	△51.0%	—
前期実績（平成 29 年 3 月期）	69,925	5,829	5,265	130.43

## 3. 差異及び修正の理由

第 2 四半期累計期間は、建設事業における受注や大型工事の進捗が堅調に推移し、営業利益、経常利益は前回予想を上回りましたが、下記 4 に記載の特別損失が発生し、第 2 四半期累計期間の四半期純利益は前回予想を大幅に下回ることとなりました。

通期の業績予想につきましては、第 2 四半期累計期間の業績を考慮して、前回の予想を修正いたします。

## 4. 特別損失の計上について

### (1) 特別損失の概要

当社は、アスファルト合材の製造販売業者が共同して、アスファルト合材の販売価格の引き上げを決定している疑いがあるとして、前連結会計年度に公正取引委員会の立入検査を受けております。その進捗に伴い今後発生し得る損失額を見積もり、平成 30 年 3 月期決算において、独占禁止法関連損失引当金繰入額として、27 億円を特別損失に計上することといたしました。ただし、当該金額は、現時点において当社が見積もったものであり、今後の進捗に伴い変動することがあります。

### (2) 業績に与える影響

上記の特別損失は、本日公表した平成 30 年 3 月期の第 2 四半期累計期間の実績及び通期業績予想の数値に含めております。

## 5. 配当予想の修正

### (1) 修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期	期 末	合 計
前 回 予 想 (平成 29 年 8 月 8 日公表)	0 円 00 銭	17 円 00 銭 (普通配当 10 円 00 銭) (特別配当 7 円 00 銭)	17 円 00 銭 (普通配当 10 円 00 銭) (特別配当 7 円 00 銭)
今 回 修 正 予 想		10 円 00 銭 (普通配当 10 円 00 銭)	10 円 00 銭 (普通配当 10 円 00 銭)
当 期 実 績	0 円 00 銭		
前 期 実 績 (平成 29 年 3 月 期)	0 円 00 銭	17 円 00 銭 (普通配当 10 円 00 銭) (特別配当 7 円 00 銭)	17 円 00 銭 (普通配当 10 円 00 銭) (特別配当 7 円 00 銭)

### (2) 配当予想修正の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題の一つと認識しており、持続的成長に向けた経営基盤の強化および収益力の維持・向上を図りつつ、当期の業績、財務内容、今後の経営環境等を総合的に勘案しながら、安定的・継続的な配当の実施に努めることを基本方針としております。

この基本方針に基づき、平成 30 年 3 月期の期末配当金の予想につきましては、従来、1 株当たり 17 円（普通配当 10 円、特別配当 7 円）と公表しておりましたが、今般、平成 30 年 3 月期の通期業績予想において、当期純利益が前回予想を大幅に下回る見通しとなったことから、当期の期末配当金の予想を 1 株当たり 10 円（普通配当 10 円）に修正することといたしました。

(注) 上記の業績予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上